

鉄道試験線と台車性能評価

Railway Test Track and Bogie Performance Evaluation

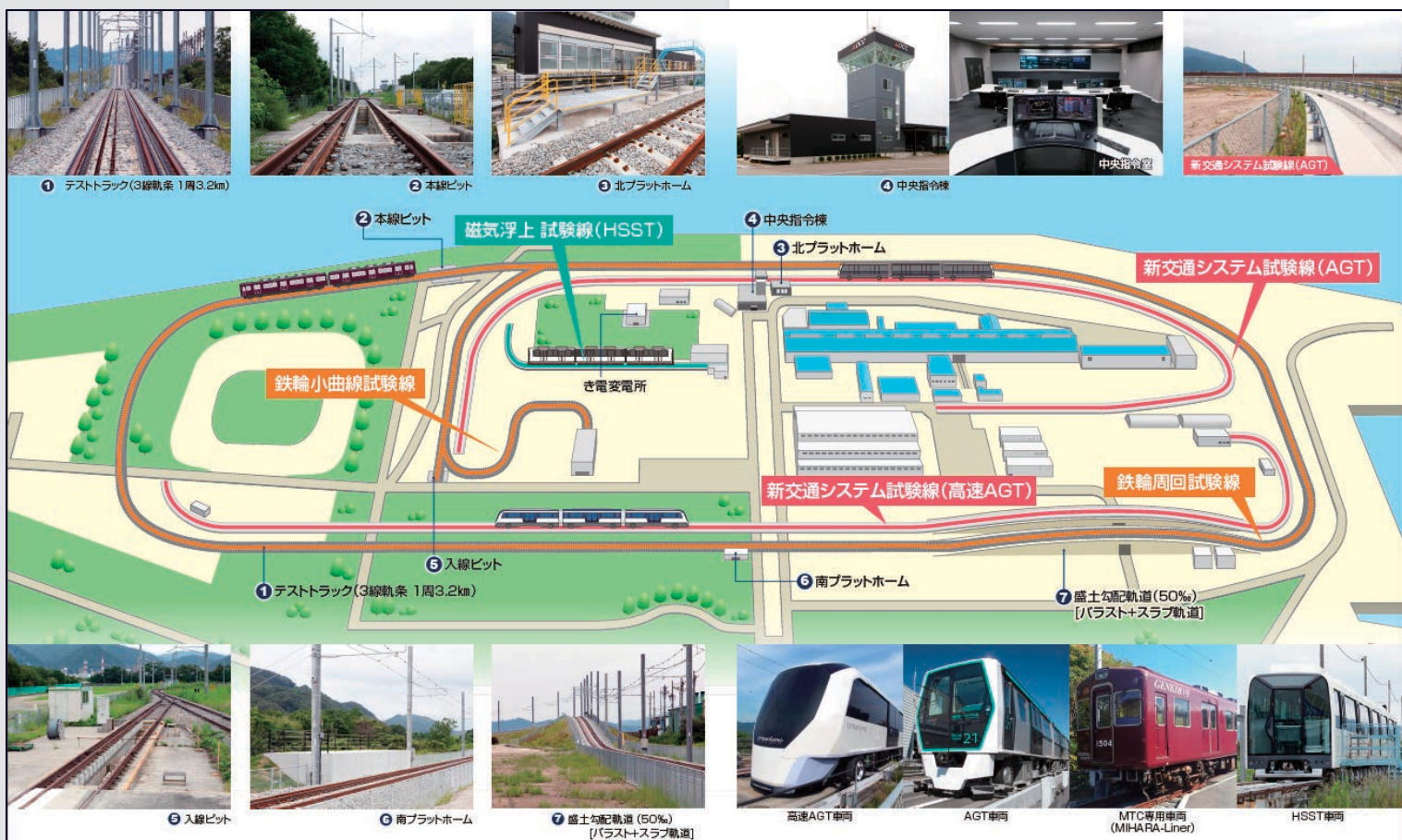
概要

鉄道試験線は、営業線では制約上難しい試験や昼間の連続試験が実施できます。更に、閉じた専用設備のため、外乱の無い同一条件でのデータ計測が可能です。台車等の車両性能を評価するのに、最適な試験環境を提供する事ができます。

用途

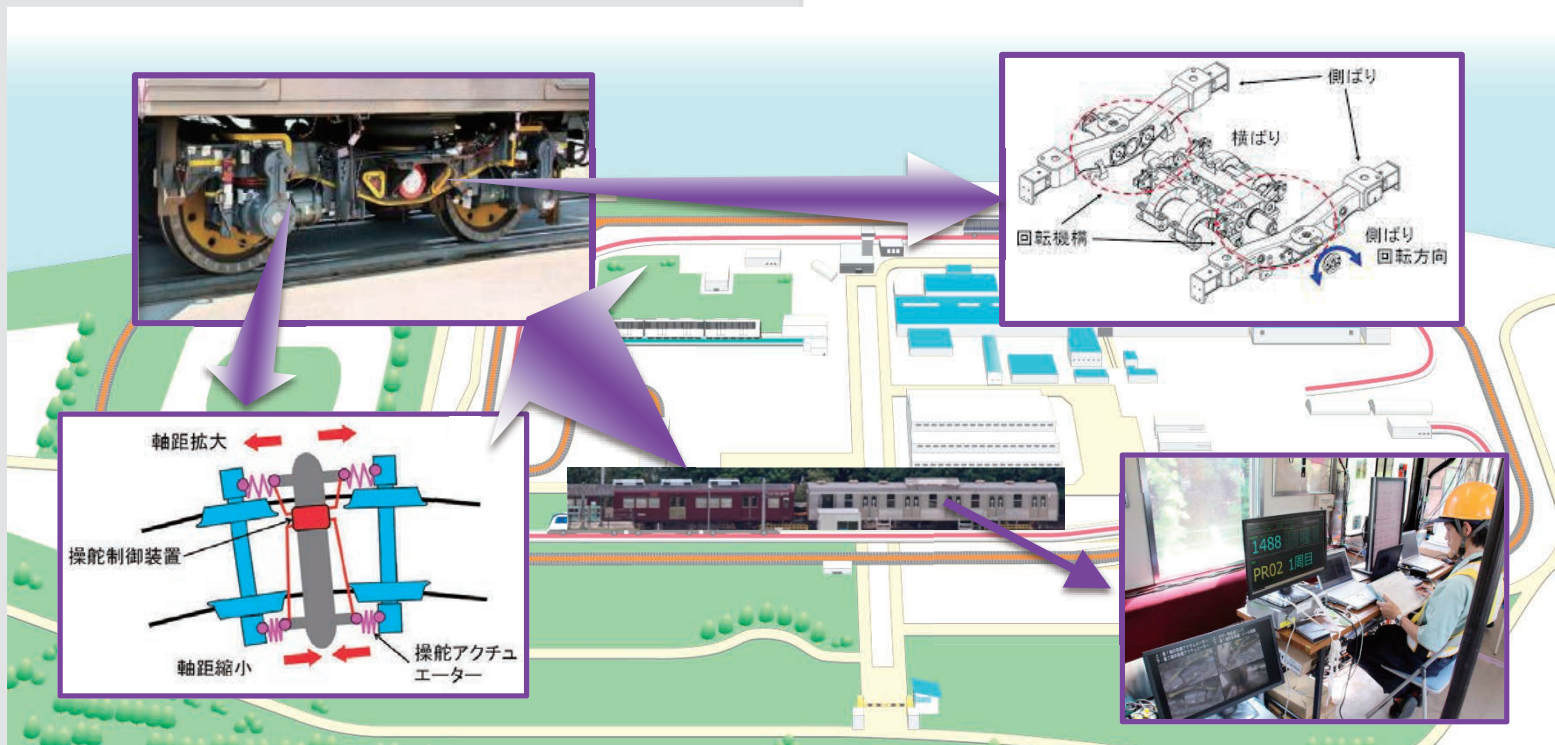
- 1) 技術開発・安全性評価
実運用に近い試験での早期検証
- 2) 規格認証支援
要求仕様や適合規格に沿った評価
- 3) 研修・訓練
各種教育の他、PRでも活用可能

MIHARA試験センター



■ 利用事例：技術開発

【脱線しにくい台車】 公益財団法人 鉄道総合技術研究所 様



試験体制

利用者	(公財) 鉄道総合技術研究所 様
試験支援	(株) テス 様
施設管理	三菱重工エンジニアリング(株)

〔利用者実施概要〕

- ①試験車両を廻漕(海路)で試験線へ搬入
- ②施設管理者保有の牽引車両/標準軌を改造して試験車両/狭軌と連結
- ③試験の実施や安全確保等は利用者が主体で実施

■ 社外利用実績

利用者	実施事例
産官学共同	交通インフラシステム検証
産官学共同	国際規格開発データ測定
鉄道事業者	車載機器検証試験
認証機関	規格認証関連データ測定
メーカー	新型車両走行試験
メーカー	車載機器検証試験

★ 12団体で計 11件の利用 (2014年以降)

■ 試験線活用の方向性

〔技術開発の連携の場〕

- ・ 協調領域の技術に関する検証や実証
- ・ 鉄道関連システムの模擬環境を整備

【協調領域の技術】
自動運転、協調安全、
サイバーセキュリティ等

鉄道関連団体

鉄道模擬環境

連携の場

鉄道試験線